



鬼怒川温泉が発見されて以来、
開湯330年を迎えます。記念事業の
一環として、半年にわたり打上花火を
実施します。

百華繚乱花火

えんか

~ 鬼怒川焰火 ~

期間

2021年7月~12月

毎週土曜日

時間

21:00 ~ 約8分間

場所

【第1会場】 温泉中央会場

第1会場からの打上は、毎月第1・2・4・5土曜日のみ

【第2会場】 鬼怒楯岩大吊橋会場

第2会場からの打上は、第3土曜日のみ

【第3会場】 鬼怒川公園会場

第3会場からの打上は、9月25日(土)・10月2日(土)・9日(土)

《お客様へのお願い》

- 密集を避けるため、鬼怒川温泉にご宿泊の方はお部屋から、地域にお住まいの方はご自宅からご覧下さい。
- 期日によっては、ご覧になれない宿泊施設がございますので、事前に施設にご確認下さい。
- 荒天時(台風・強風等)は中止となる場合がございますので、あらかじめご承知おき下さい。

主催：鬼怒川温泉夏まつり実行委員会

[観光情報については...]

共催：(一社)日光市観光協会 TEL:0288-22-1525(9時~17時)

日光旅ナビ

鬼怒川温泉開湯330年のあゆみ

- 鬼怒川温泉は、江戸時代の元禄4年（1691年）に、鬼怒川右岸（現在のあさやホテル付近）の河原の中に湧き出ている温泉（滝温泉）を、村人が偶然発見したとされています。
- 当時は、湧出場所が日光御神領（徳川幕府直轄地）であったため、日光社参の諸大名や寺社の僧侶、神職のみが利用できる格式の高い温泉でした。
- 明治時代になり一般に開放されると、明治2年（1869年）に左岸にも新たに温泉（藤原温泉）が発見され、昭和2年（1927年）に滝温泉と藤原温泉を合わせて「鬼怒川温泉」と称することにしました。
- この頃から旅館・ホテルが開業を始め、昭和4年（1929年）下野電気鉄道（現・東武鬼怒川線）の開通を契機として、首都圏から多くのお客様がお越しになり、次第に全国屈指の大型温泉観光地として発展してきました。

🔥 泉質：アルカリ性単純温泉

🔥 特徴：無味無臭・無色透明、肌への刺激が少ない 『美肌の湯』♡

🔥 効能：やけど・神経痛・関節痛・冷え性・疲労回復・健康増進 など

昭和初期～中期頃の鬼怒川温泉の様子



くろがね橋 芸妓さん達の練り歩き



川沿いのお宿から見える絶景



温泉中心街の様子

【花火打上会場】 鬼怒川公園会場

【打上時間】 21：00～約8分間

〈月あかり花回廊 第12章〉

— 初秋の夜、“あかり”と“花火”に彩られる —

2021年9月25日(土) ~ 10月10日(日)

開催時間 18：00～21：00

開催場所 鬼怒川公園

月あかり
花回廊

